

1. 業務の背景と目的

近年、世界的に地球温暖化対策の必要性が高まる中、足寄町は2021年9月に、2050年までにカーボンニュートラルを目指すゼロカーボンシティを表明し、その実現に向けた具体的な取組みを進めることとなった。

本業務は、このような状況を背景として、足寄町が目標を達成するために取組むべき脱炭素の具体的な方法を明確にするため、現在の温室効果ガスの排出量について把握し、省エネや再生可能エネルギーの導入による温室効果ガスの削減量、手法および実施時期等について調査検討し、計画書としてとりまとめることを目的とする。

なお、本業務は、令和3年度環境省予算に基づいて公益財団法人日本環境協会が執行する「再エネの最大限の導入の計画づくり及び地域人材の育成を通じた持続可能でレジリエントな地域社会実現支援事業のうち、2050年までの脱炭素社会を見据えて再生可能エネルギーの導入目標を策定する事業（第1号事業の1）」を活用して実施する。

2. 業務の内容

(1) 基本方針

国や道が掲げる2050年カーボンニュートラルの目標は、現状の取組みを延長するだけでは達成し得ず、脱炭素の取組みを格段に加速化させる必要がある野心的なものである。しかしながら、地球温暖化の悪影響が既に様々な形で現れており、現状のまま対策を講じない場合に待ち受ける将来像はより厳しくなると予想されている現在、温暖化対策の取組みを消極的かつ先送りすることはかえってリスクを増大させることにつながることから、本町においても、ある程度の困難を承知の上で、脱炭素化に積極的に取り組む姿勢が求められている。

他方、脱炭素化に伴う負担や苦痛を耐え忍ぶだけでは、現実的に対策が普及することも難しいと考えられることから、短期的にも脱炭素化の取組みを通じて何らかのメリットを享受できる仕組みを構築できるかが結果を大きく左右すると考えられる。

そこで、本計画の策定に際しては、脱炭素化と地域活性化を両立させるべく以下の基本方針に従うこととする。

- ・温室効果ガスの排出量を削減する取組みは、現状を的確に把握すると共に、実際の取組みによって削減された量を可能な限り正確に把握することが必要となる。そこで、エネルギー消費量等を定量的に把握した上で全町の排出量を推計し、削減目標およびロードマップに反映させる。
- ・温室効果ガスの削減目標は、国が表明した2050ゼロカーボンの目標である“2030年に2013年比46%削減”、“2050年実質カーボンニュートラル”や北海道地球温暖化対策推進計画（第3次改訂素案）等との整合を図ると共に、これらの計画と同等以上の目標とする。
- ・温室効果ガス削減の取組みは行政のみならず、家庭や事業所等を含むすべての町民が実践することが望まれることから、計画の実効性を高めるためには普及啓発の取組みが重要になる。そこで、調査段階から特にステークホルダーとの間で意思の疎通を図り主体的な取組みを促すと共に、継続的な取組みとなるよう的確な情報提供を行う。

(2) 業務対象区域

足寄町全域

(3) 業務内容

①基礎情報の収集と現状分析

i. 基礎情報の整理

地域の自然的、経済的、社会的条件に関わる下記の基礎情報を収集整理する。

- ・自然：位置、地勢、気候、地質、土地利用等
- ・経済：産業構造、地域経済、エネルギー使用実態等
- ・社会：人口動態、公共施設、民間事業所、インフラ等

ii. 地域特性の把握と課題の抽出

部門ごとの排出量等を可能な限り正確に把握し、本町の特性を整理する。また再エネ導入にかかる既往の取組みを振り返り、地域の課題を抽出した上で、再エネ導入の可能性について分析する。

- ・実態調査に基づくエネルギー消費量、温室効果ガス排出量の推計
(公共施設や主要な民間事業所等を対象とした調査)
- ・再エネ導入にかかる既往の取組みの評価
- ・再エネ導入のポテンシャル算定
- ・エネルギーや脱炭素化と地域経済、環境、防災等を考慮した地域の課題の抽出

②温室効果ガス排出量の将来推計

地域の特性や温室効果ガスの削減効果を踏まえ、将来における温室効果ガスの排出量を推計する。

なお推計は、現状のまま推移した場合のほか、社会的、技術的要因の変化も想定した複数の前提条件を設定し、将来ビジョンや脱炭素シナリオを検討するための基礎資料となる推計を行う。

③将来ビジョン・脱炭素シナリオの検討

温室効果ガスの将来推計を踏まえつつ 2050 年ゼロカーボンの達成を最終目標に据え、バックキャストの考え方に立った将来ビジョンを提案する。脱炭素の方策には多様な再エネ導入のほか、省エネや行動変容、森林吸収源対策等の方策も想定されることから、これらを並行させ最大限の効果をもたらす道筋を検討する。

またそれを実現させるための基本的な方針となる脱炭素シナリオを作成する。これらのビジョンやシナリオは、将来期待されるイノベーションの可能性や課題を想定した上で、脱炭素と併せて地域の活性化を両立させるものとする。

④再エネ導入目標の作成

地域の再エネポテンシャルや将来のエネルギー消費量を踏まえ、再エネ導入目標を作成する。2050 年カーボンニュートラル達成に至る過程の 2030 年、2040 年における中間段階における再エ

ネ導入目標についても検討する。

併せてこれらの目標達成に向け、全町を挙げた取組みとなるよう普及啓発を図ると共に、一定期間ごとの評価と検証を継続的に実施し、着実に成果を上げていくための方策についても検討する。

⑤必要施策および指標の検討・重要施策の構想策定

目標達成に向けた取組みを加速化させ、脱炭素化の取組みの実効性を高めるため、必要となる施策及び指標について検討する。

また本町における先導的かつ効果的な事業について検討し、重要施策としての構想を策定する。なお、現段階で想定している先導プロジェクトの案件は次の4つである。

i.電気自動車（EV）の普及を前提とした電力需給の自立分散化プロジェクト

国内外で自動車の電動化が急速に進むと予想される中で、災害耐性も高める自立分散型電力需給システムへの転換が予想されている。このような潮流を踏まえ、レジリエンス強化と交通インフラの質的向上の同時達成を指向するEV普及のシナリオを描くと共に、2030年を目途に取組むべき具体的方策について検討する。

ii.農林業振興に資するバイオマスエネルギーの導入プロジェクト

本町が長年注力してきた木質バイオマス地産地消の取組みを加速化し、特に熱利用分野で再エネ導入を拡充するプロジェクトについて検討する。

また畜産農業系未利用バイオマスのエネルギー利用についても既往の取組みを発展、継続させる方策について検討する。

iii.民生部門における再エネ熱利用の拡充プロジェクト

エネルギー消費に占める割合が高い民生部門の熱需要にかかる脱炭素化をはかるため、公共施設、民間事業所、一般家庭の3分野において目標を達成するために先導的な役割を果たすことが期待される熱需要における再エネ導入事業の基本的な構想について検討する。

iv.潜在資源を活用する技術革新やイノベーションを前提とした先導的的事业推進プロジェクト

技術的、制度的あるいは経済的課題の存在によって現段階では普及が困難とされながらも本町の特性から潜在的な賦存量が多いと見込まれる再エネについて、現状の課題のブレークスルーが起きることを前提に将来的な普及が期待される先導的なプロジェクトについて検討する。

⑥合意形成に向けた対応

以上のような具体的な取組みについて地域の関係者等との間で合意形成を図るために、会議等の必要な方策を立案し、町をはじめとする主催者がそれを実施する際に支援する。

⑦報告書とりまとめ

本業務の調査検討内容を取りまとめ報告書を作成する。

3. 業務の履行期間

事業の履行期間は契約締結の日から令和4年9月16日（金）までとする。

		業務工程								
		月	4	5	6	7	8	9	10	備考
項目										
①基礎情報の収集と現状分析				→						
②温室効果ガス排出量の将来推計				→						
③将来ビジョン・脱炭素シナリオの検討				→						
④再エネ導入目標の作成					→					
⑤必要施策および指標の検討・重要施策の構想策定				→						
⑥合意形成に向けた対応				→						
⑦成果とりまとめ							→			履行期限は 9/16

4. 打ち合わせ

下記の区切りにおいて打合せを行うものとし、その結果について受注者が打合せ記録簿を作成し、発注者へ提出するものとする。また打合せ回数は4回程度とする。

- ・業務発注時
- ・中間打合せ（2回以上）
- ・成果納入時

5. 成果品

本業務の成果品として、以下を提出する。

なお、電子データについては、PDFファイル及びオリジナルファイル（PDFに変換前のデータ）とする。その他のデータ形式については、監督員の承諾を得るものとする。

- ・業務報告書【本編】（A4版簡易製本） 3部
- ・業務報告書【公開編】（A4版簡易製本） 3部
- ・電子データ（DVD-RまたはCD-R） 2部

6. その他

業務における成果品及びデータ等を含むすべての制作物については、足寄町に著作権を譲渡する

ものとし、本町が自由に加工、複写、ホームページの作成、増刷等を行い、公表できるものとする。
受託者は、本業務の処理上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。業務完了後もまた同様とする。

この仕様書に定めのない事項については、必要に応じて委託者と受託者とが協議し定めるものとする。